ストップ！児童労働 キャンペーン2013

企画書

6月12日は
児童労働反対
世界デー！

児童労働ネットワーク(CL-Net)
Child Labour Network

2013.5.14

1．主催団体のご紹介

児童労働ネットワーク（CL-Net）
Child Labour Network

児童労働ネットワーク（CL-Net）は、児童労働に問題意識を持ち、日本からこの問題の解決に貢献することを目指すNGO、労働組合などが加盟するネットワークです。2004年9月に設立し、団体正会員22、個人正会員5名、個人協力会員7名で構成されています（2013年3月現在）。

会員団体一覧 （22 団体／2013.3 現在）

（特活）アジア日本相互交流センター（ICAN）
（公社）アムネスティ・インターナショナル日本
（特活）ACE
（特活）エファジャパン
（特活）かものはしプロジェクト
（特活）国際子ども権利センター
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
（公財）国際労働財団（JILAF）
（特活）グッドネーバーズ・ジャパン
グローバル・ヴィレッジ/ピープル・ツリー
情報産業労働組合連合会（情報労連）
（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
Save Children Network
（特活）ソルト・パヤタス
（特活）テラ・ルネッサンス
（特活）日本オーガニックコットン流通機構
日本労働組合総連合会（連合）
働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン（OLAL）
フード連合
フェアトレード・リソースセンター
（特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）
UAゼンセン

１．主催団体のご紹介

活動内容

（１）意識啓発、世論喚起

市民を対象とした児童労働についてのイベントやキャンペーン、意識啓発を行い世論を喚起しています。2005年より「児童労働反対世界デー」（6月12日）をまたいだ5月から6月にかけてキャンペーンを実施。児童労働反対世界デーキャンペーンは、これまでの動員数がのべ85万人にのぼっています。

（２）国内外の団体との協働

国内外の団体やネットワークと連携し、児童労働をなくすための目標へ向けた取り組みを促進しています。また会員向けの内部研究会などを開催し、日本国内の関連団体および個人が持つ情報や経験を共有し、理解を促進しています。

（３）政策提言活動

関係各府省庁の児童労働に関する意識及びコミットメントを高めるために、政策提言活動を行っています。2012年には28万5140筆の署名を集め、内閣府（少子化対策）、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省に提出しました。

（４）その他の活動

その他の適宜目的を達成するために必要と思われる活動を行っていきます。

2．活動実績

児童労働反対世界デー・キャンペーン

6月12日が「児童労働反対世界デー」に制定（国際労働機関、2002年）されたことを背景に、2006年より児童労働ネットワークが本キャンペーンを開始しました。

・期間：毎年5月5日（子どもの日）～6月30日
・目的：①児童労働を知る人を増やす
　　②日本政府による児童労働撤廃に向けた取り組みを強化・促進する
・主な活動内容：
　　キャンペーン賛同イベントの開催呼びかけ
　　イベントの主催
　　ウェブサイト・ソーシャルメディア等を通じたPR活動
　　署名活動
・実施者：児童労働ネットワーク会員団体・個人、キャンペーン賛同団体、その他協力団体・個人

2．活動実績

●キャンペーン賛同イベント（2006年～2012年）

CL-Net会員団体及びキャンペーン賛同団体へ、キャンペーン期間中に児童労働の関連イベント開催を呼び掛けてきました。

（7年間の実績）

・イベント実施数： **137件**

・参加人数：のべ**62,686名**

2．活動実績

●キャンペーン賛同イベント（2006年～2012年）

<u>主なイベント内容</u>

・シンポジウム
・映画上映会
・演劇上演会
・写真展
・チャリティーバザー
・学習会
・街頭署名活動
・ウォーク
・サイクリング
・フェアトレード・ファッションショー　　他

2．活動実績

●署名活動（2008年～2012年）

2008年に署名活動を開始し、日本政府へ児童労働問題に対する取り組み強化を要請してきました。

（5年間の実績）

・署名筆数：累計 **783,922筆**

・提出：毎年、提出先府省庁の政務三役（**大臣、副大臣及び大臣政務官**）への直接提出を果たしている

・成果：2012年、各府省庁の現在の児童労働問題に関する取り組み状況について、政府より回答を得た

2．活動実績

●署名活動（2008年～2012年）

	署名筆数	累計	提出先
2008	12,004	12,004	外務省（小野寺副大臣）
2009	74,396	86,400	外務省（福山副大臣） 文部科学省（川端大臣） 厚生労働省（細川副大臣）
2010	200,036	286,436	外務省（伴野副大臣） 文部科学省（笠政務官） 厚生労働省（小宮山副大臣）
2011	212,346	498,782	外務省 文部科学省（森副大臣） 厚生労働省（小宮山副大臣）
2012	285,140	783,922	内閣府（少子化対策）（小宮山大臣） 外務省（加藤政務官） 文部科学省（城井政務官） 厚生労働省（小宮山大臣） 経済産業省（柳澤副大臣）

小宮山内閣府特命担当大臣(少子化対策)及び厚生労働大臣と（2012年）

2．活動実績

●2012年の活動実績

- 「世界から児童労働をなくそう！」署名が**28万5140筆**集まり、日本の5府省庁へ提出しました
- イベントやソーシャルメディアを通じて、のべ**19,526名**に児童労働を伝えました

活動実績一覧	
児童労働イベント参加者数 実施件数	9,427名 26件
ウェブサイト訪問者数	5,732 名
Youtube閲覧回数	2,484回
Facebook記事最多いいね数	939名
ツイッター フォロワー数	944 名
メディア掲載数	36 件
賛同団体数	36 団体 ・CL-Net会員団体　22 ・キャンペーン賛同団体　14

3．ストップ！児童労働キャンペーン2013について

概要

- 名称：ストップ！児童労働キャンペーン2013
- 期間：2013年6月1日～6月30日

目的

- 児童労働について知っている人が増える
- 児童労働解決のために市民が行動を起こす
- 日本政府による児童労働撤廃に向けた取り組みが強化・促進される

活動計画

- アクション企画**「ひとはたあげよう」**の実施
- **キャンペーン賛同イベント**の開催呼びかけ、共同広報
- **TICADVサイドイベント**の開催（申請中）
- **広報活動、世論喚起**：ウェブサイトやフェイスブックからの発信、プレスリリース等を通じて

3．ストップ！児童労働キャンペーン2013について

キャンペーン一覧表：目標、成果、活動、指標

目標：	成果：	活動：	指標：
目標A： 児童労働について知っている人が増える	児童労働について知っている人が増えている	①ウェブサイト、FBによる広報 ②プレスリリースの発行 ＜PRタスクフォースが実施＞	①検索数 ②FBいいね数 ③ツイート数 ④WEBアクセス数 ⑤メディア掲載数
目標B： 児童労働解決のために市民が行動を起こす	児童労働解決のために市民（企業や学校も含む）が行動を起こしている	①賛同団体の募集 ②ひとはたあげよう ＜ひとはたあげようチームが実施＞	①キャンペーン賛同団体数 ②キャンペーンに参加する市民数 ※参加＝ひとはたあげよう 報告件数・参加人数
目標C： 日本政府による児童労働撤廃に向けた取り組みが強化・促進される	政府の政策決定に関わる関係者、及びその関係者に影響を与える文書(ポストMDGs等）の議論において、児童労働問題が重要な課題として認識される。	①TICADV　サイドイベントの実施 ②TICADVに向けた働きかけ ③政府との対話 ④ポストMDGsの議論への参加 ⑤海外ネットワークとの連携・協調 ＜政策提言チームが実施＞	ポストMDGsの中に目標や指標として児童労働が入る

3．ストップ！児童労働キャンペーン2013について

現在の課題

・世間で「児童労働」という言葉の認知度がまだまだ低い

・6月12日が「児童労働反対世界デー」であるが、児童労働反対の意思表示をするための共通のアクションがない

・児童労働の問題を知った人が、児童労働撤廃のために一人ひとりがどんなアクションを起こせばいいのかがイメージしにくい

↓

解決策

・ 6月12日「児童労働反対世界デー」の付近に、誰もが参加しやすい共通のアクションをつくる

・ソーシャルメディアを活用し、児童労働を人から人へと伝えていく

・マスコミが関心を示すようなアクションを企画し、取り上げてもらうことで、「児童労働」という言葉を目にする機会を増やす

↓

ひとはたあげよう！

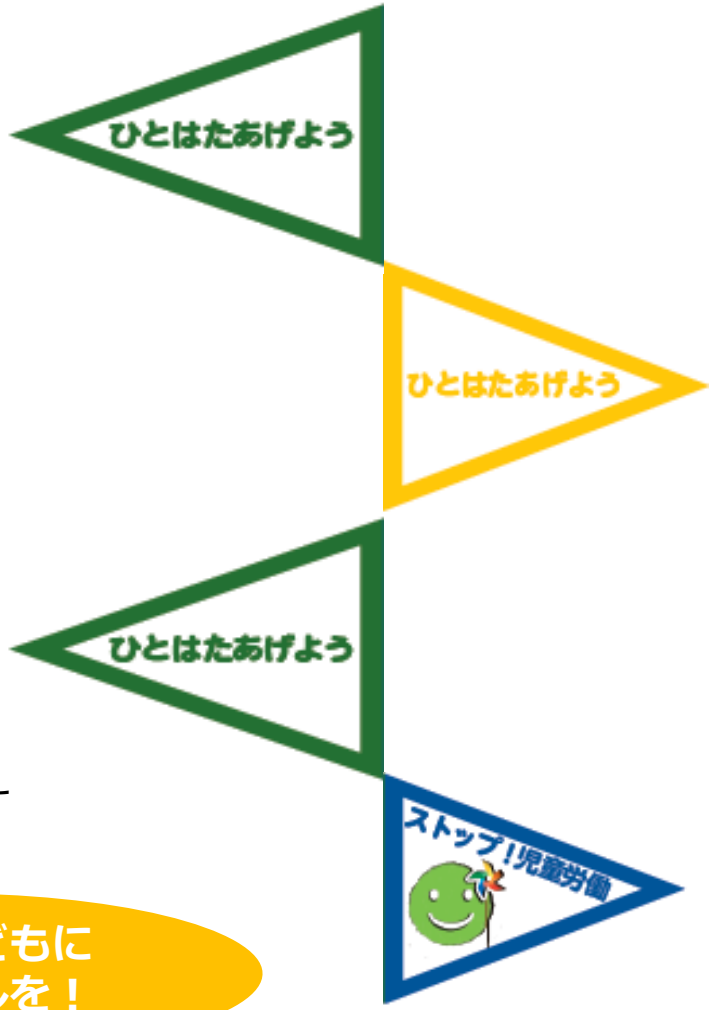
4．ひとはたあげよう
企画内容

目的

1．「児童労働」という言葉の認知度を上げる
2．「児童労働をなくそう！」というムーブメントを世間に起こす
3．アクションを児童労働撤廃の実際の変化に結びつける

概要

・期間：2013年6月
・実施場所：日本全国　及びFacebook
・方法：オリジナルの旗を作成し、キャンペーンに賛同した団体・個人が旗を食べものなどに立てて写真を撮影し、Facebookにアップしてもらう。



世界の子どもに
旗でエールを！

4．ひとはたあげよう
企画内容

参加方法

0．旗を入手する

・フライヤーを受け取る、
又はウェブサイトから
ダウンロードする

4．ひとはたあげよう
企画内容

目的

1．「児童労働」という言葉の認知度を上げる

2．「児童労働をなくそう！」というムーブメントを世間に起こす

3．アクションを児童労働撤廃の実際の変化に結びつける

見込まれる成果

Facebookやメディアを通じてのアクションを知り、「児童労働」を認知する人が増える

アクションの機会を提供して話題を作ることで、人から人へと伝わり、「児童労働をなくそう！」というムーブメントが起こる

ILO事務局長へ成果物（集まった写真）を提出し、日本のムーブメントを伝えるとともに、更なる行動を促す

４．ひとはたあげよう
企画内容

協力団体

（株）ディック・ブルーナ・ジャパン

ディック・ブルーナさんが児童労働をする子どもの絵を描かれていたことをきっかけに、ひとはたあげようのメインキャラクターとして活用させていただけることになりました。

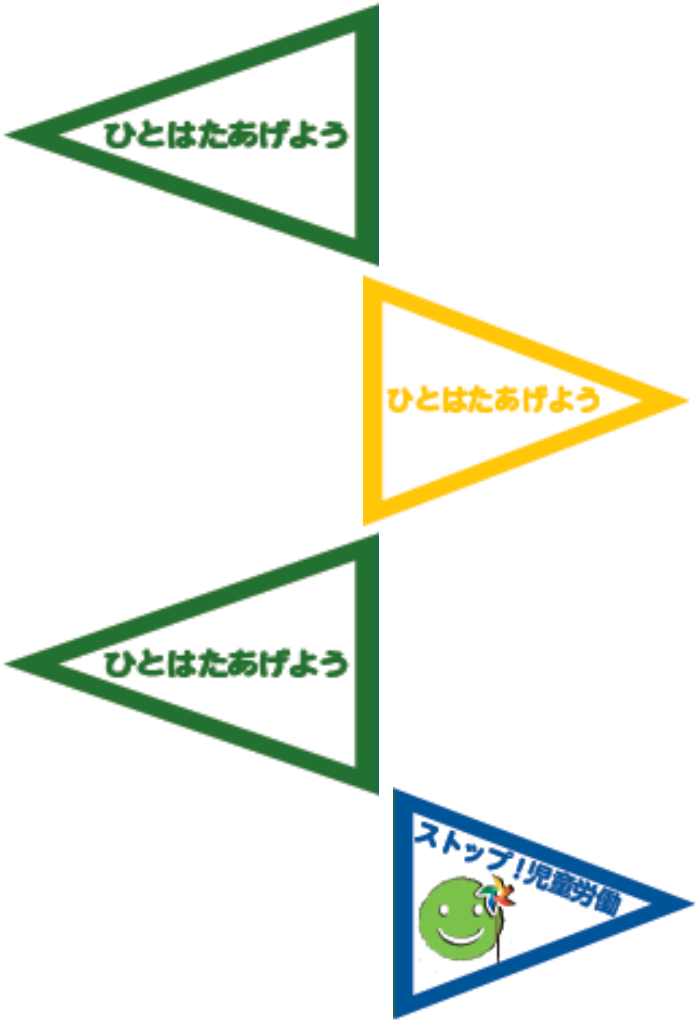
４．ひとはたあげよう
企画内容

実施協力者（予定）

・児童労働ネットワーク会員団体（22）、
　及び各団体の支援者

・キャンペーン賛同団体（昨年実績14）、
　及び各団体の支援者

・その他、「ひとはたあげよう」に賛同する
　団体及び個人



5. TICADVサイドイベント企画概要

イベント名

「児童労働撤廃、EFAの実現と若者の雇用創出
～ダイナミックなアフリカのための質の高い成長に向けて～」

日時　2013年6月2日(日)　17時30分～19時

会場　パシフィコ横浜アネックスホール　小会場（シアター形式、定員150名）
アクセス：http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html

主催者　児童労働ネットワーク、ILO駐日事務所

内容

児童労働は子どもたちの健全な成長を阻害し、アフリカの人間開発、次世代の人材育成にも関わる大きな開発課題であると同時に、MDGs1と2の達成に向けた障害である。日本のNGO、企業、国際機関の取り組みを紹介し、子ども・若者の観点を含めた様々な角度からアフリカ開発を考えるシンポジウムを開催する。

5. TICADVサイドイベント企画概要

登壇者とトークテーマ

特定非営利活動法人　テラ・ルネッサンス　理事長　小川真吾さん
　→子ども兵士とリハビリテーション

森永製菓株式会社　１チョコfor1スマイルご担当　八木格さん
　→企業とNGOの連携事例、アフリカの成長における民間企業の役割

特定非営利活動法人　ACE　近藤光さん
　→カカオ産業の児童労働撤廃プロジェクト

ILO駐日事務所次長　林雅彦さん（TICAD　Vに出席する開発担当ディレクターが参加できる可能性もあり）
　→　児童労働撤廃及び若年雇用創出の活動紹介

プログラム（案）

1．モデレーターによる導入：（10分）
2．発表（10分×4　約45分）
3．ポストMDGsに向けてのディスカッション（15分）
4．質疑応答（15分）
5．まとめ（5分）

6．キャンペーン賛同イベント開催のお願い

6月に児童労働関連イベントを開催ください！

- キャンペーン期間中（6月1日～6月30日）に、キャンペーンの目的を達成するためのイベントをぜひ企画・実施ください。

イベントで直接伝えよう！

- CL-Netでは、キャンペーン賛同イベントの広報に協力します。
  : CL-Netウェブサイトに賛同イベント一覧を掲載
  : フェイスブックでのイベントシェア　等

- 賛同イベントを開催される際は、CL-Netウェブサイトフォーム（準備中）からの申込と実施報告をお願いいたします。
- フェイスブックでイベントを立てられましたら、シェアいたしますので、フェイスブックメッセージまたはEメールにて事務局までお知らせください。

※各団体が主催する同イベントを「キャンペーン賛同イベント」と定義しています。
※2012年は賛同イベントが26件実施され、9,427名が参加しました。

7．広報活動

CL-Netウェブサイト　　www.cl-net.org/

・キャンペーン概要やイベント情報、ひとはたあげよう情報等を掲載します。
・キャンペーンバナーをご活用いただけます。

バナーからの
リンクを
お願いします！

Facebook　　www.facebook.com/stopCL/

・情報発信はFacebookを中心に行います。
・ひとはたあげようもフェイスブックを中心に展開します。

いいね！と
シェアを
お願いします！

ツイッター　　@CLNET　#STOPCL

・キャンペーンおよび児童労働の情報を発信します。

フォローと
リツイートを
お願いします！

8．参加枠組・手続き等

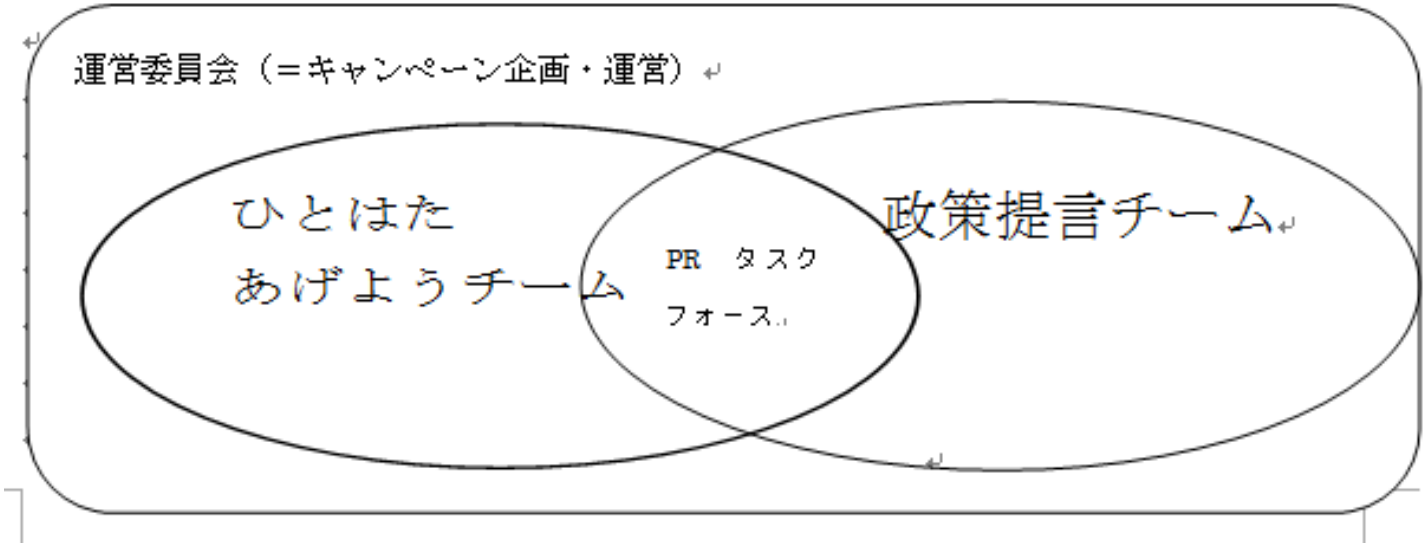
参加の枠組み

	期待される役割	意思表明・参加手続き、報告
児童労働ネットワーク会員団体・個人	・キャンペーン活動の推進（詳細はキャンペーン賛同団体の項目を参照） ・このうち運営委員がキャンペーン企画・運営を担う	-特に必要なし
キャンペーン賛同団体	・キャンペーン全体の推進 ・「ひとはたあげよう」の実施推進（任意） ・児童労働ネットワークのイベント広報協力（任意） ・期間中のイベント開催（推奨、任意、賛同団体のイベントはCL-NETでも広報に協力）	・賛同申込と賛同金の納入 ・賛同イベントを開催する場合は、イベント申込及び報告（いずれもWebフォームより）
ひとはたあげよう参加団体（会員団体、賛同団体を含む、ひとはたへの実施協力団体）	・「ひとはたあげよう」実施を団体単位で推進、活動の一部として取り込む	・参加申し込み（WEBより） ・CL-NET側からの依頼により実施するケースも想定（レストラン等）
ひとはたあげよう参加個人	・「ひとはたあげよう」を実施、Facebookで広げる	・CL-NETWEBサイトから、実施を報告

8．参加枠組・手続き等

運営体制

児童労働ネットワークの運営委員および事務局が、下記の体制でキャンペーンを企画・運営しています。



８．参加枠組・手続き等

賛同手続きについて

Step1

CL-Netウェブサイト内の賛同申込フォームからお申込みください
＜URL＞http://cl-net.org/campaign/application.html

Step2

キャンペーン賛同金のご納入をお願いいたします
（一口以上何口でもご協力いただけます）

«納入金額»　非営利団体（一口）：　5,000円
企業（一口）　：10,000円
個人（一口）　：　2,000円

«振込先»

【郵便振替口座】00160-8-685281　口座名義：児童労働ネットワーク（CL-Net）

【銀行口座】三菱東京UFJ銀行　上野支店　普通口座　5413699
口座名義：児童労働ネットワーク（CL-Net）

※郵便・銀行共に、可能でしたら通信欄に「ストップ！児童労働キャンペーン2013　賛同金」と明記してください。

※お振込み後、振込日時を事務局にご連絡ください。

８．参加枠組・手続き等

キャンペーンに賛同すると・・・

１．CL-Netのウェブサイトやキャンペーン報告書で団体名をご紹介します。

２．団体主催のキャンペーン賛同イベント広報に協力します。
　　：CL-Netウェブサイトに掲載する賛同イベント一覧
　　：フェイスブックでのイベントシェア　等

３．キャンペーンフライヤー（ひとはたあげよう）を無料で配布します。
（数量に上限あり）

８．参加枠組・手続き等

スケジュール

5月　　準備・拡散期間

・賛同・参加呼びかけ＜CL-Net＞
・賛同申込／イベント申請＜会員・賛同団体＞
・ひとはたあげよう協力依頼・情報拡散
・キャンペーン情報順次公開（Web, facebook等）

21日（火）　CL-Netウェブサイト：キャンペーン情報完全公開
22日（水）　ひとはたあげようフライヤー発送（予定）

6月　　キャンペーン月間

・ひとはたあげよう実施
・キャンペーン賛同イベント開催
・集中情報発信

2日（日）　TICADVサイドイベント　in横浜

7月　　報告期間

・キャンペーン賛同イベント報告
・キャンペーン実施報告

お問い合わせ

児童労働ネットワーク(CL-Net)
Child Labour Network

児童労働ネットワーク（CL-Net）事務局
〒110-0015 東京都台東区東上野1－6－4 あつきビル3階 ACE気付
TEL：03-3835-7555
FAX：03-3835-7601
Eメール：cl-net@cl-net.org
URL：http://www.cl-net.org
担当：植木（うえき）、岩附（いわつき）